

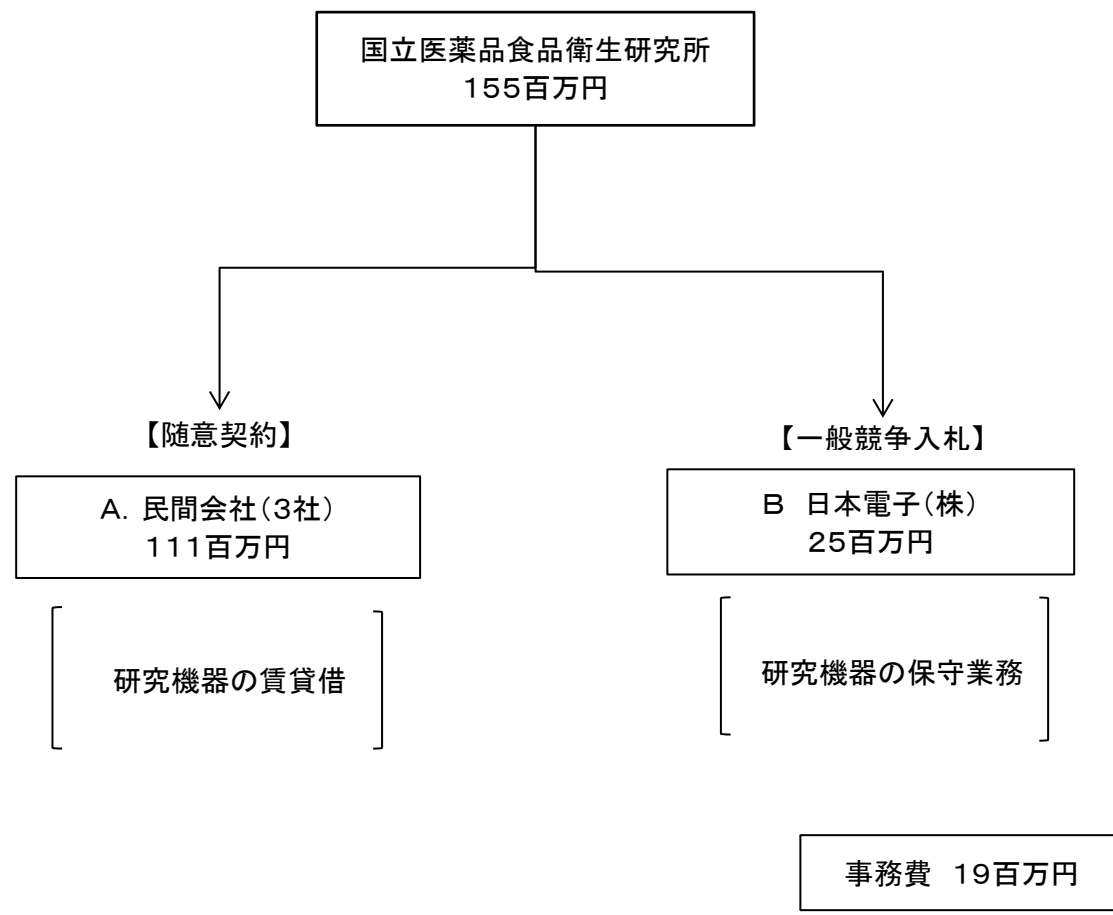
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働行政に必要な行政研究・事業や厚生労働科学研究の遂行に資する化学系の最先端機器を、厚労省全体での共同利用型機器として整備することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚労省全体の共同利用型機器として、主に化学系の高額分析機器である核磁気共鳴装置、タンデムマス装置、LC/MS/MS装置等、構造決定に有用な最先端機器を整備している。 整備された機器は、国民の健康、安全の確保に資するため、多数の違法薬物の検出及び同定、並びに医薬品、医療機器素材、食品成分や容器包装、天然食品添加物等の規格基準の設定を行うための物質の構造解析等に使用されているところである。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	157	157	157	154	152	
	執行額	157	157	155				
	執行率(%)	100%	100%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	共同利用型機器の整備にかかる経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。		成果実績	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	共同利用型機器の整備にかかる経費であるため、定量的な活動指標を設定することはできない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
単位当たりコスト	—		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	154	152	消耗品費等の見直しによる減				
	計	154	152					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 研究機器の賃貸借について、動作環境の互換性を維持する必要から当該業者以外には行うことができないため、随意契約を締結した。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 整備された機器は、多数の違法薬物の検出及び同定や、多数の違法薬物の検出及び同定、並びに医薬品、医療機器素材、食品成分や容器包装、天然食品添加物等の規格基準の設定を行うための物質の構造解析等に使用されており、国民の健康、安全確保に直接的に大きく貢献しているところである。 当該機器の選定に際しては、機器を使用する研究者で構成された選考委員会を開催し、対応する機器を持つ全ての機器メーカーから維持・管理コストまで含めてヒアリングを実施している。 執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費等の見直しを行った。 (反映額: ▲2百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.日立キャピタル(株)			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料	研究機器の賃貸借	69			
計		69	計		0
B.日本電子(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	研究機器の保守業務	25			
計		25	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立キャピタル(株)	研究機器の賃貸借	69	随意契約	
2	NTTファイナンス(株)	研究機器の賃貸借	41	随意契約	
3	日本GE(株)	研究機器の賃貸借	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電子(株)	研究機器の保守業務	25	2	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					